

# デイで栄養・口腔ケア 多職種で利用者の変化共有

## 昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園

「昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園」（東京都昭島市）は、栄養改善・口腔ケアに力を入れて取り組むデイサービス。専門職員を配置し、介護職員などと連携して利用者をサポートしている。

丸山和代施設長は「機能訓練・レクだけでなく栄養・口腔のケアも必要不可欠。デイでの全面的な健康管理が、在宅での活動や食事、睡眠にもつながると考える」と語る。

デイには管理栄養士が1名常駐。生活相談員の協力を得て自宅での食事状況を把握し、日頃の食事量の調整や代替食の提案をしてい

る。食事中には、様子を観察して食事姿勢や残した食材などを把握。食事の変更だけでなく、体重・BMIの変化も考慮し、さらなる口腔ケア、機能訓練の必要性をほかの職種に共有する。

口腔面では、非常勤の歯科衛生士が月に10日、口腔内チェックや歯磨き指導を行う。「家族の多くは口の中



▶栄養士によるミールラウンド

までケアできない。専門職が定期的にチェックすることで口腔内の変化にいち早く気づくことができる」（丸山施設長）。

食事は管理栄養士と様子を観察。むせていないかなどを見て、唾液分泌の促進や咀嚼機能の向上をはかる。歯科衛生士の不在時も、スムーズに食事ができるよう介護職員が昼食前に口腔体操を行っている。

個別機能訓練は、常駐する1名のPTが担当。小集団でのトレーニングや、歩行訓練を行う。口腔機能改善をきっかけに、食事や身体機能の改善につなが

った事例について丸山施設長は「利用者の、義歯の不具合を歯科衛生士が指摘。調整したところ、食事量・運動量が増え、結果、車椅子を利用していたが1人で歩けるようになった」と話す。

各専門の職員同士で、利用者のBMIや食事の様子、口腔状



▶歯科衛生士による口腔ケア

態、身体機能の変化など、情報をこまめに共有しているという。「情報共有は職員同士に留まらず、家族、ケアマネにも行っている。今後もトータルなケアに取り組み、利用者の自立を支援していきたい」（丸山施設長）

### 事業所概要

名称：昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園  
 類型：デイサービス  
 定員：一般型30名・認知症対応型36名  
 事業主体：社会福祉法人同胞互助会  
 住所：東京都昭島市田中町